

公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会
若年層に向けた国民年金保険料納付促進モデル事業
第5回検討会資料

dentsu

電通パブリックリレーションズ

第5回検討会の議題

本日の検討会では前回ご報告しました、将来の保険料未納者を防ぐ施策として若年層を対象とした「講義」および制作物についてご説明いたします。同時に、市町村向け事業同様、キービジュアルの定量調査を行いましたので、その結果も合わせてご報告いたします。

議案①	「本モデル事業」概略	P.03
議案②	講義概要	P.05
議案③	定量調査結果のご報告	P.09
議案④	講義教材(ワークシート)概要	P.13
議案⑤	講義教材(映像)概要	P.22
議案⑥	今後の進行について	P.30

●今後のご提案に際して

本会后、実際の作成に向けて各構成員と相談の上、クリエイティブ作業を進めていく予定であります。表現の具体案に関しましては、第7回検討会でご確認いただけます。

① 「本モデル事業」概略

モデル事業のテーマ

未来を「教わる」のではなく、「感じて」ほしい！

～ For Your Future ～

制作物等の表現目標

講義展開
モデル事業

特別講師による国民年金特別授業を1月中旬を目安に2ヵ所の教育機関（高校・大学）にて、将来の未納者防止を目的に実施

映像資料

モデル事業において国民年金についての内容を10分程度にまとめ、授業内で視聴し、理解の一助とするために作成する。

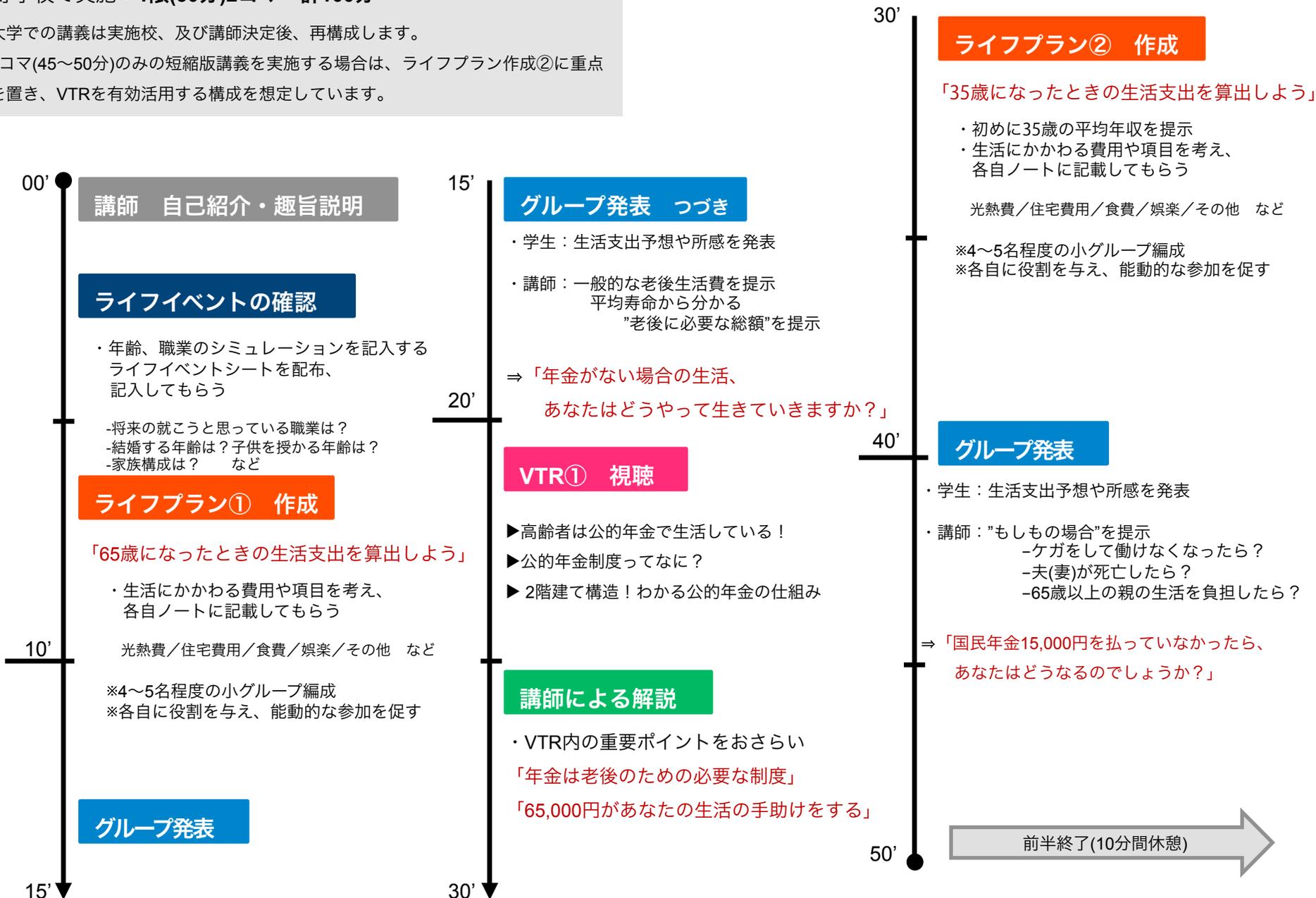
ワークシート

モデル事業において学生が授業時に要点や考えを書き留めるものにし、楽しく授業を受けることのできるものを作成する。

② 講義概要[全体構成 / 実施校・講師について]

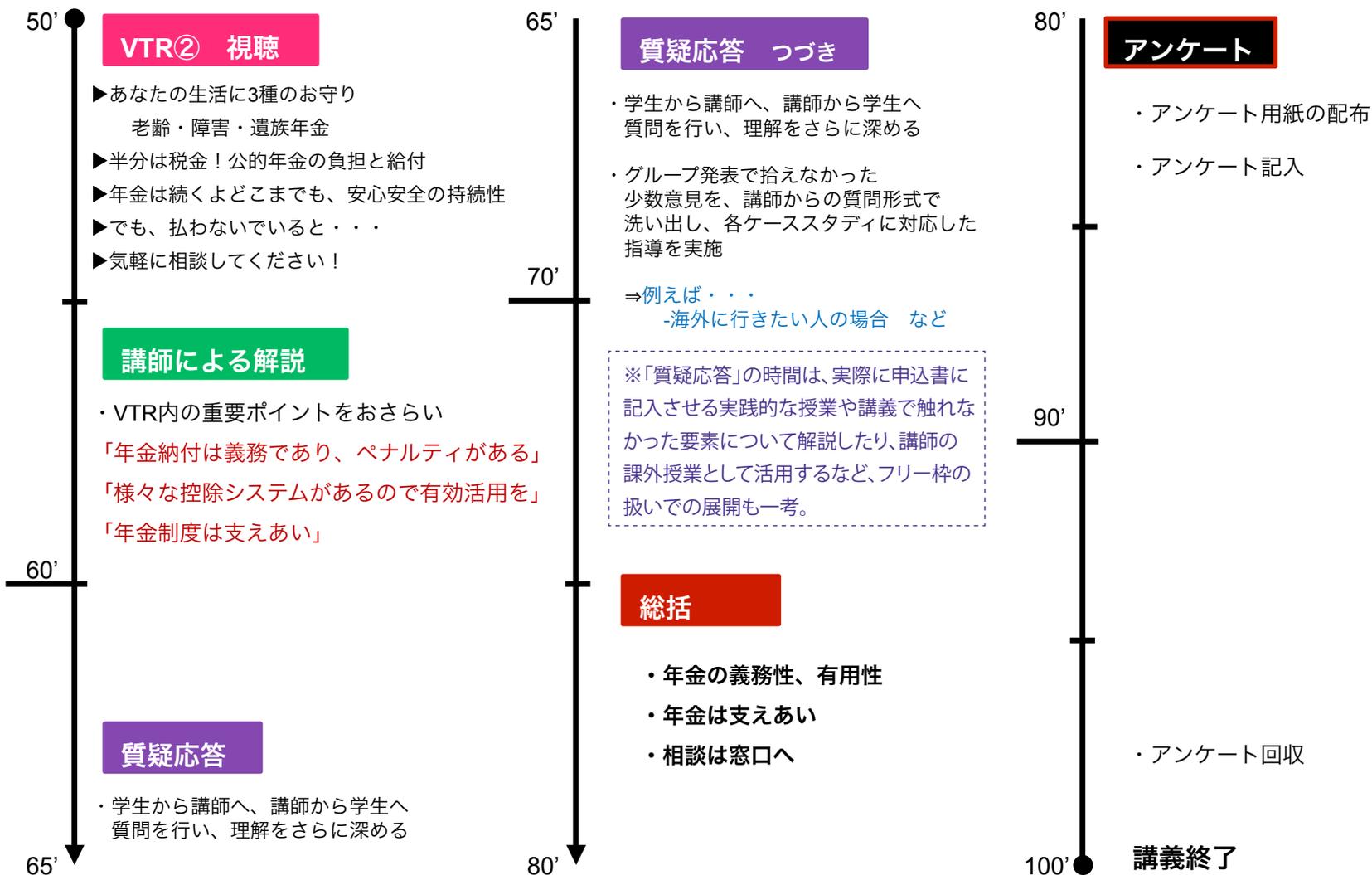
高等学校で実施：1限(50分)2コマ 計100分

- ・大学での講義は実施校、及び講師決定後、再構成します。
- ・1コマ(45~50分)のみの短縮版講義を実施する場合は、ライフプラン作成②に重点を置き、VTRを有効活用する構成を想定しています。





※前半でグループ発表を終えきらなかった場合は、後半冒頭(5分程度)で続きを実施



【高校】

モデル事業校（本事業を弊社が実施する学校）

学校	講師
東京都立蒲田高校	浅川貴広 教諭（蒲田高校 公民科）

日時（予定）

2015年 1月12日から16日（うち1日）

準モデル事業校（本事業を日本年金機構が実施する学校）

数校を選定し厚生労働省及び日本年金機構担当者による授業を行う

【大学】

モデル事業校（本事業を弊社が実施する学校）

学校	講師
大妻女子大学	学生への講義経験豊富な予備校講師やセミナー講師の中からお引き受け頂ける方

日時（予定）

2015年 1月9日 もしくは 1月16日

準モデル事業校

その他ご協力頂ける学校とその都度ツールをご使用いただき、感想アンケート頂く。

詳細につきましては第7回検討会でご報告いたします。

③ 定量調査結果のご報告

※調査結果概要は、市町村における国民年金手続促進モデル事業資料参照

イラスト (A)

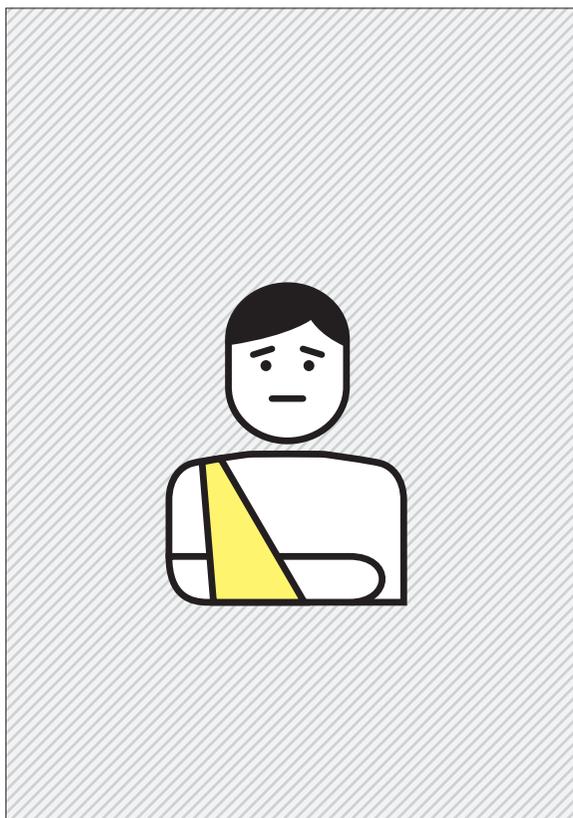
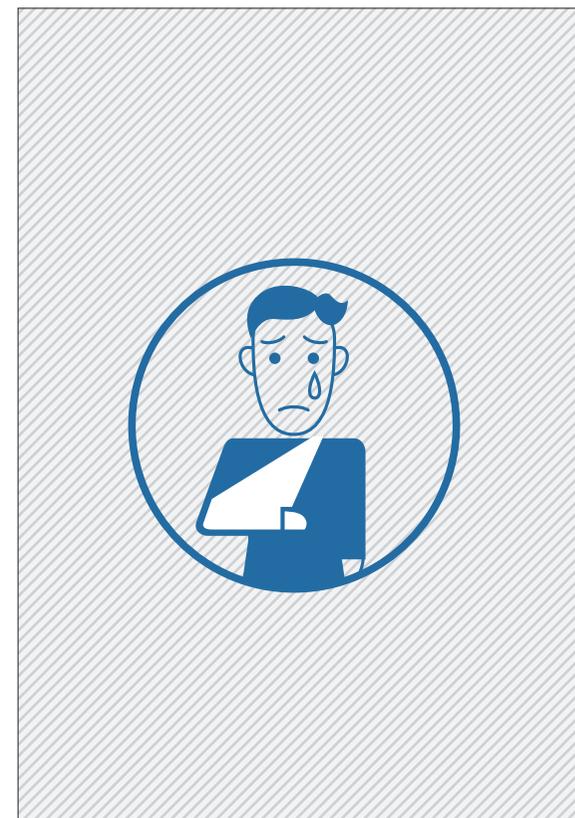


イラスト (B)



イラスト (C)



* ビジュアル表現は調査用としてのダミーサンプルです。

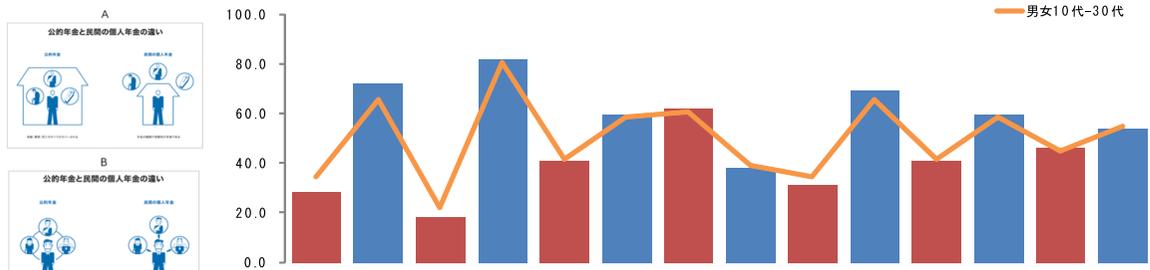
※ キービジュアル決定後、シチュエーション（構図）、色み等に関しては、より印象的に表現できるよう再検討いたします。

③ 定量調査結果のご報告

調査結果 ～印象～

「簡潔な」のみA案が多く得票したが、その他についてはB案がより多く得票した。若年者（10代-30代）のみに着目しても、傾向はさほど変わらなかった。

Q1. 以下の印象をより強く受けたイラストをそれぞれお知らせください。



	n	A		B		A		B		A		B		A		B	
		ユニークな	かわいい	わかりやすい	簡潔な	親しみのある	インパクトがある	信頼感がある									
全体	(n=216)	28.2	71.8	18.1	81.9	40.7	59.3	62.0	38.0	31.0	69.0	40.7	59.3	46.3	53.7		
地域 × 年齢	男女10代-30代 (計)	(108)	34.3	65.7	22.2	80.6	41.6	58.4	60.8	39.2	34.5	65.5	41.5	58.5	45.1	54.9	
	首都圏	男性10代-20代	(13)	38.5	61.5	30.8	69.2	46.2	53.8	30.8	69.2	38.5	61.5	15.4	84.6	30.8	69.2
		男性30代	(13)	38.5	61.5	23.1	76.9	46.2	53.8	69.2	30.8	38.5	61.5	46.2	53.8	38.5	61.5
		男性40代	(13)	30.8	69.2	30.8	69.2	46.2	53.8	46.2	53.8	38.5	61.5	30.8	69.2	30.8	69.2
		男性50代	(13)	23.1	76.9	7.7	92.3	61.5	38.5	84.6	15.4	30.8	69.2	38.5	61.5	69.2	30.8
		女性10代-20代	(14)	42.9	57.1	14.3	85.7	35.7	64.3	71.4	28.6	14.3	85.7	50.0	50.0	35.7	64.3
		女性30代	(14)	21.4	78.6	21.4	78.6	50.0	50.0	78.6	21.4	35.7	64.3	35.7	64.3	57.1	42.9
		女性40代	(14)	14.3	85.7	14.3	85.7	42.9	57.1	71.4	28.6	21.4	78.6	57.1	42.9	50.0	50.0
		女性50代	(14)	21.4	78.6	21.4	78.6	42.9	57.1	71.4	28.6	28.6	71.4	28.6	71.4	50.0	50.0
	その他	男性10代-20代	(13)	38.5	61.5	-	100.0	30.8	69.2	46.2	53.8	53.8	46.2	46.2	53.8	46.2	53.8
		男性30代	(13)	30.8	69.2	23.1	76.9	38.5	61.5	61.5	38.5	38.5	61.5	38.5	61.5	30.8	69.2
		男性40代	(13)	30.8	69.2	23.1	76.9	23.1	76.9	38.5	61.5	38.5	61.5	38.5	61.5	38.5	61.5
		男性50代	(13)	15.4	84.6	7.7	92.3	30.8	69.2	61.5	38.5	23.1	76.9	46.2	53.8	46.2	53.8
		女性10代-20代	(14)	28.6	71.4	14.3	85.7	64.3	35.7	78.6	21.4	35.7	64.3	50.0	50.0	71.4	28.6
女性30代		(14)	35.7	64.3	28.6	71.4	21.4	78.6	50.0	50.0	21.4	78.6	50.0	50.0	50.0	50.0	
加入状況	国民年金加入者	(166)	29.5	70.5	19.3	80.7	41.6	58.4	62.7	37.3	30.7	69.3	39.8	60.2	45.8	54.2	
	公的年金未加入者 (20歳以上)	(26)	23.1	76.9	19.2	80.8	34.6	65.4	57.7	42.3	34.6	65.4	46.2	53.8	46.2	53.8	
	国民年金未加入者 (20歳未満)	(24)	25.0	75.0	8.3	91.7	41.7	58.3	62.5	37.5	29.2	70.8	41.7	58.3	50.0	50.0	
	納付状況	完納者	(92)	29.3	70.7	18.5	81.5	41.3	58.7	66.3	33.7	30.4	69.6	38.0	62.0	42.4	57.6
短期滞納者 (1~6ヵ月)		(19)	10.5	89.5	-	100.0	31.6	68.4	52.6	47.4	15.8	84.2	47.4	52.6	52.6	47.4	
中期滞納者 (7~24ヵ月)		(18)	33.3	66.7	27.8	72.2	50.0	50.0	83.3	16.7	44.4	55.6	50.0	50.0	55.6	44.4	
長期滞納者 (25ヵ月以上)		(36)	30.6	69.4	19.4	80.6	36.1	63.9	52.8	47.2	25.0	75.0	30.6	69.4	47.2	52.8	
不明		(27)	33.3	66.7	29.6	70.4	44.4	55.6	51.9	48.1	44.4	55.6	51.9	48.1	44.4	55.6	

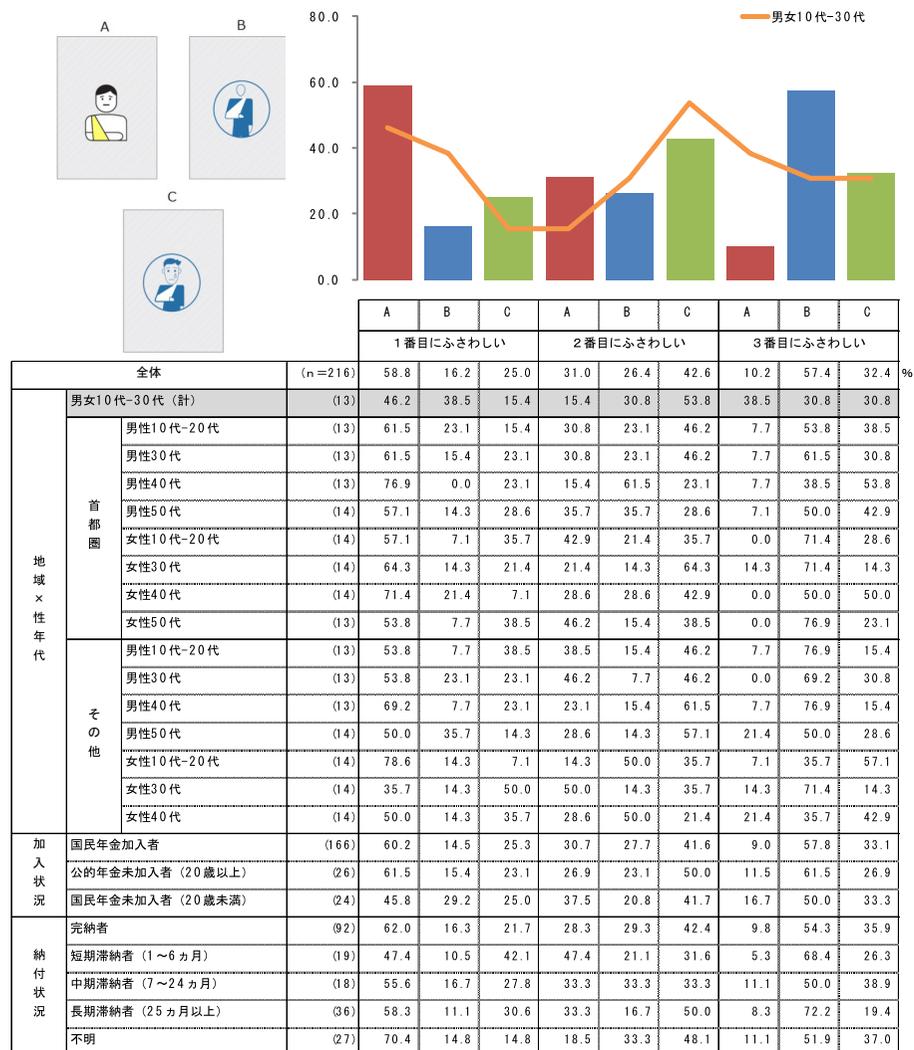
※首都圏・・・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・大阪府・兵庫県・奈良県
 ※その他・・・首都圏を除くエリア

③ 定量調査結果のご報告

調査結果 ～事業適正～

A案、C案、B案の順で得票を占めており、顔が書き込まれているイラストの方が評価されていることが分かった。若者についても評価の順位は同様だった。

Q2. 年金の普及啓発教材だとすると3種類のイラストについて、ふさわしい順番をお知らせください。

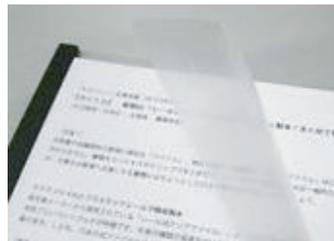


※首都圏・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・大阪府・兵庫県・奈良県

※その他・首都圏を除くエリア

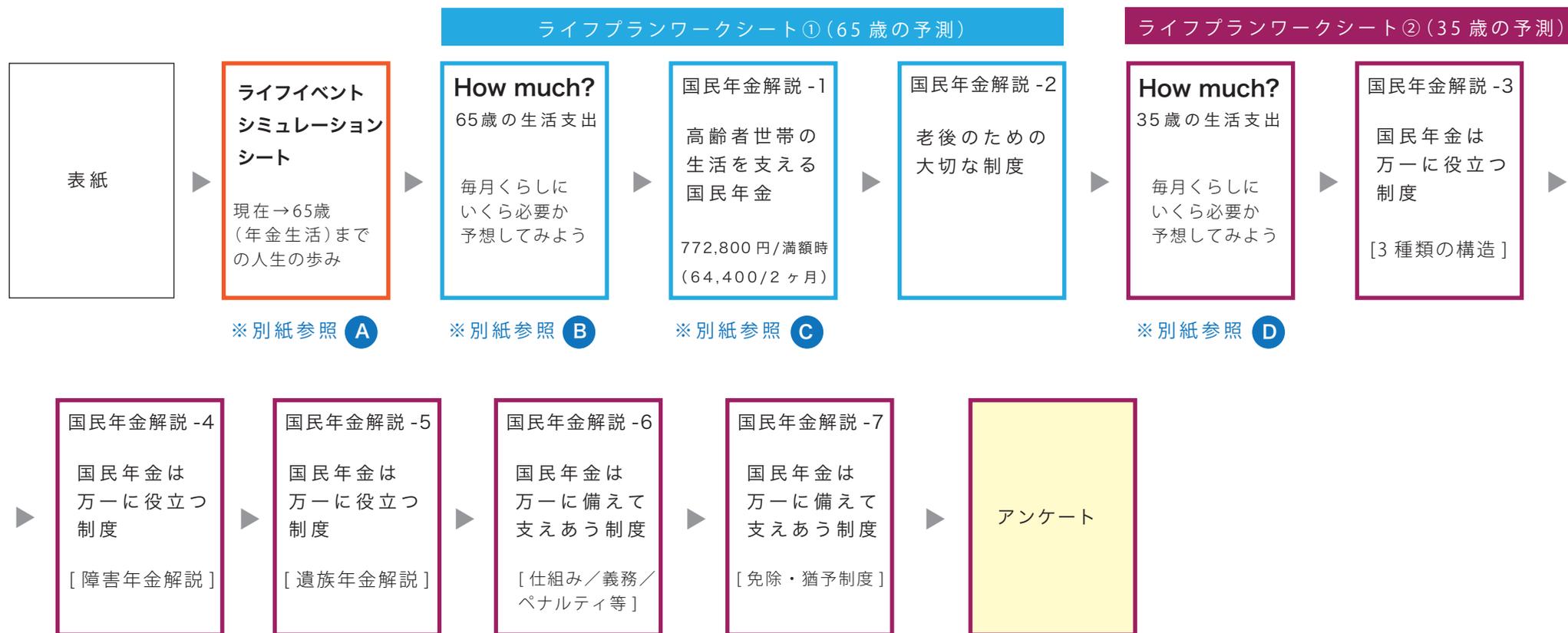
④ 講義教材（ワークシート）概要

■体裁：File in シート [ファイル +A4 シート]



※File 画像はイメージです。

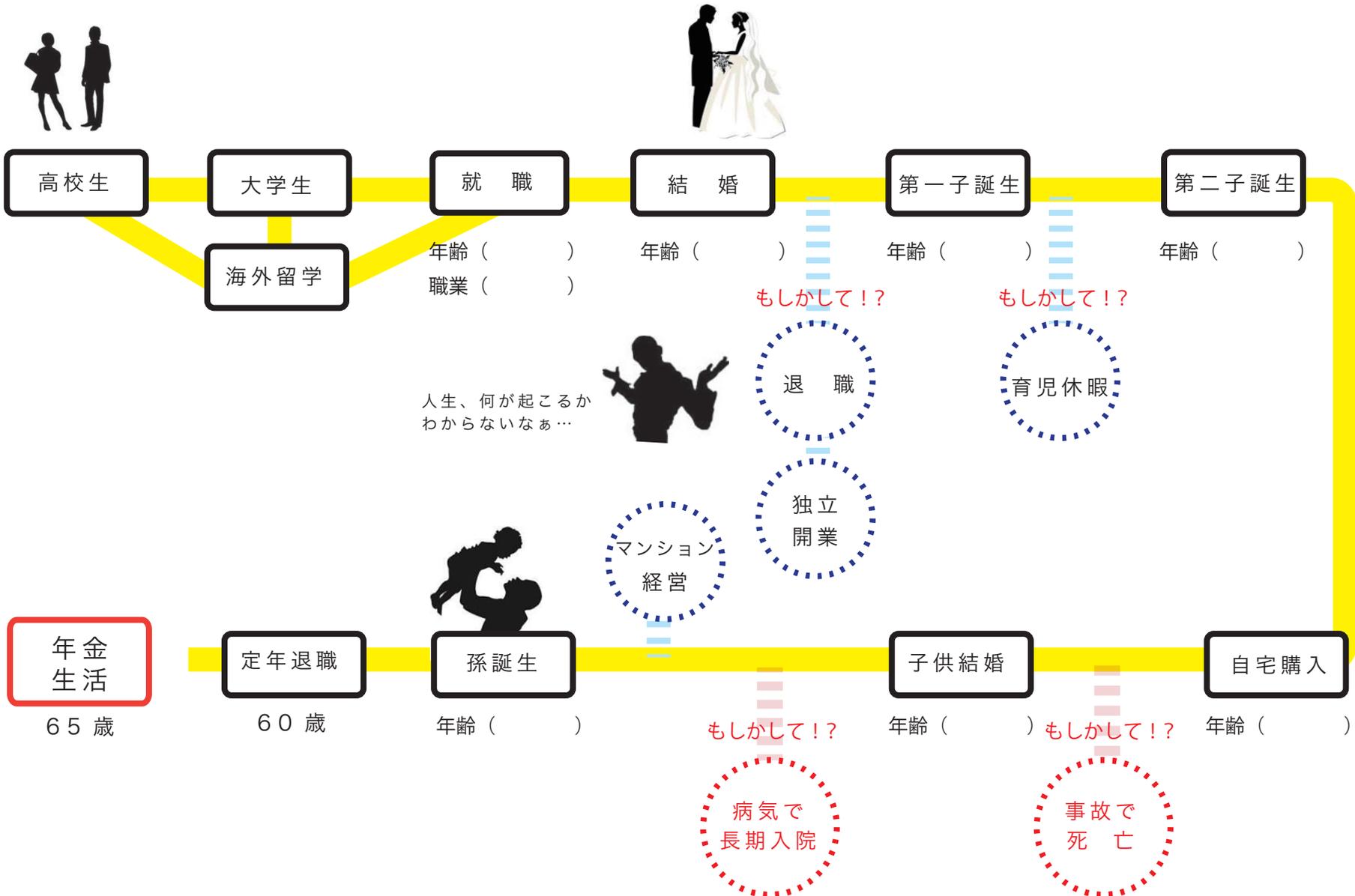
■ページ構成 [本編シート：A4×12 シート / 1 セット]



※シートの順番は、講師の方と協議の上、講習の流れに準じます。

*本デザインシートは紙面イメージです。最終のものではありません。*キービジュアル及び情報内容決定後にあらためてデザイン案をご提示いたします。

【未来のライフイベントシート】人生いろいろ。あなたの未来を想像してみよう。() 内に記入してね。



*本デザインシートは、講習会教材としての紙面イメージで、最終のものではありません

*キービジュアル及び情報内容決定後にあらためてデザイン案はご提示いたします

■ ライフプラン①教材：ワークシート

■ シートイメージ (デザイン・色は仮)

◎ 制作意図

学生の皆さんにとっては、家計のやり繰りはまだ経験している人は少ないことが想定され、さらに65歳の生活費となるとかなり想像しにくいものです。そこで授業の本題に入る前に、主な支出項目を設けたシミュレーションシートに生徒に記入していただき、漠然とでも生活費に必要なお金のイメージを持っていただきます。

ライフプランシミュレーション
～将来の暮らしをみんなで考えて見よう～

もしも!?
あなたが65歳になったとき
生活費ってどのくらい必要なんだろう…



キミは現在65歳。
キミの子どもたちも独立し、
定年退職後の悠々自適な生活を送っていると仮定します。
そんなキミの生活費は毎月、いくらくらい必要だと思う?

(老夫婦二人暮らしで)

- 食費はいくら? (約) 円
- 家賃はいくら? (約) 円
- 光熱費はいくら? (約) 円
- 医療費はいくら? (約) 円
- 趣味や外食などの交遊・交際費はいくら? (約) 円
- スマホ代はいくら? (約) 円

ひと月いくら必要になった?

合計 (約) 円

*本デザインシートは、講習会教材としての紙面イメージで、最終のものではありません。

*情報内容決定後に、あらためてデザイン案はご提示いたします。

■ライフプラン①教材：解説シート

◎制作意図

前項(別紙-A)で1ヶ月の生活支出を個人予想させた上で、本シートでグループ単位で1ヶ月の生活費をまとめ発表。講師が講義の中で、グループ予想金額と実際のデータを比較しながら、理想と現実のギャップを基に国民年金が老後の生活の支えになっていることをレクチャーします。

その他の解説シートは、講習の流れと連動させるため、講師の方と協議の上、掲載内容、表現方法を含め詳細を固めていきます。

グループごとで相談した
1ヶ月の生活費支出額を記入。

重要なポイントは、穴埋め回答式にし、講師の説明、授業を通して、生徒自身にシートを完成させる「受講者(生徒)参加型」のスタイルにします。

■シートイメージ(デザイン・色は仮)

正しく覚えよう、国民年金! その①

Question : 1

65歳の1ヶ月の生活費、
いったいいくらかかると思いますか?
あなたの予想額は?

()
円(1ヶ月)

—— 次の質問は講師のお話を聞きながら答えてね。 ——

国民年金は、高齢者の生活の支えに
なっていることがわかりましたね。
では次は答えられるかな?



Question

- 1 老齢基礎年金とは、25年以上の資格期間を満たしている人が、()歳から受取ることができる年金です。
- 2 国民年金は(10年間・30年間・死ぬまで)支給されます。
- 3 ()歳~60歳までの間、保険料を支払ってきた人の年金額は、およそ月額()円です。

◎制作意図

本シートは、ライフシミュレーションシートとは別に講師がモニター等で説明するための専用シートです。前項(別紙-B)で生活費を予想させ、そのギャップから講師の話に注目させるための補足教材として用意します。



65歳の現実の生活費データをインフォグラフィックスを活かし表現します。

- *本デザインシートは、講習会教材としての紙面イメージで、最終のものではありません。
- *情報内容は講習の流れに連動するため、講師と協議の上、あらためてデザイン案はご提示いたします。

■教材参考(生活費)データ

総務省統計局 “家計調査報告(家計収支編)
平成23、24、25年平均速報結果の概要”より抜粋

夫65歳、妻60歳以上で無職夫婦世帯の老後の生活費

下の表は、夫65歳以上、妻60歳以上の無職夫婦世帯の標準生活費データを抜粋したものです。
平成23、24、25年の結果を比較してあります。

夫65歳以上、妻60歳以上の無職夫婦世帯の標準生活費(円/月)の推移

分類	H23結果 金額	H24結果 金額	H25結果 金額
非消費支出(税金等)	29,671	30,517	29,857
消費支出	235,196	239,878	242,598
食料	58,093	59,010	60,459
住居	16,934	14,633	16,628
光熱、水道	19,286	20,150	20,587
家具、家事用品	9,173	9,115	9,523
被服及び履物	6,821	6,956	7,132
保険医療	15,758	15,352	15,106
交通、通信	22,344	27,106	25,327
教育	0	0	11
教養娯楽	26,577	26,387	26,055
交際費	31,751	32,623	31,612
その他	28,459	28,545	30,158
非消費支出+消費支出	264,867	270,395	272,455

水色の平成25年の結果を見てみましょう。

国税および地方税らの非消費支出は月当たり29、857円となっています。
食糧、光熱費らの生活に使う消費支出は、毎月242、598円です。

夫65歳、妻60歳以上の無職夫婦世帯の場合、標準生活費は一人暮らしの約1.74倍で毎月272、455円かかっています。
住居費は16、628円ですが、これはローンがない場合と考えてください。
60歳以上の無職一人暮らし世帯の標準生活費は、平成25年に毎月272、455円かかっています。

高年齢者はいくらくらい医療費を使っているのか?

厚生労働省の統計「患者調査」によると、年齢とともに受療率(なんらかの医療を受けている率)は上がっていき、60~64歳でも、人口10万人に対して7000人以上の人が入院または外来の受療を受けている状態ということです。

当然、かかる医療費も増えていっているはず。同じく厚生労働省の統計「国民医療費」によりみると、65歳以上の国民1人あたりの医療費は年間70万円程度にもなっています。

* 本デザインシートは、講習会教材としての紙面イメージで、最終のものではありません
 * キービジュアル及び情報内容決定後にあらためてデザイン案をご提示いたします

■ ライフプラン②教材：ワークシート

◎ 制作意図

社会生活を体験していない学生の皆さんにとって35歳の給与や生活費は想像しにくいものです。そこで実際の35歳の方の主な支出項目を設けたシミュレーションシートに生徒自身で記入いただき、漠然とでも生活費に必要なお金のイメージを持っていただきます。

■ シートイメージ (デザイン・色は仮)

ライフプランシュミレーション
 ~将来のくらしをみんなで考えて見よう~

もしも!?
 あなたが35歳になったとき
 生活費ってどのくらい必要なんだろう...



キミは現在35歳。
 きっと結婚して子供もいて、楽しい家庭を作っているんでしょうね。
 そんなキミの生活費は毎月、いくくらい必要だと思う?

(夫婦子供の3人暮らしで)

● 月給・年収はいくら? (月給: 約) 円
 (年収: 約) 円

● 1ヶ月の生活費(食費・家賃・光熱費)はいくら?
 夫婦・子供の4人暮らしの場合 (約) 円
 夫婦・子供・親(定年退職)と同居6人暮らしの場合 (約) 円

● 家賃や光熱費はいくら? (約) 円

● 学校や塾など子供の教育費はいくら? (月平均: 約) 円

● もし夫(妻)が入院したら医療費はいくら? (月平均: 約) 円

安心して暮らせるひと月の生活費はいくらくらい?
 合計 (約) 円

以下のデータに基づきライフプラン①のエクストラシートと同様、モニター資料を作成いたします。

総務省「家計調査年報」／平成24年より抜粋

	30代	40代	50代
生活費合計	232,000円	286,000円	306,000円
食費	60,000円	76,000円	74,000円
水道・光熱	19,000円	23,000円	25,000円
家具・家事用品	9,000円	10,000円	11,000円
被服及び履物	13,000円	16,000円	15,000円
保健医療	11,000円	11,000円	11,000円
交通・通信費	44,000円	45,000円	44,000円
教養・娯楽	30,000円	36,000円	29,000円
交際費	14,000円	18,000円	28,000円
その他の支出	32,000円	51,000円	69,000円

※総務省統計局家計調査を元に千円単位にまとめて作成

年代別には50歳代の約35.6万円が最高

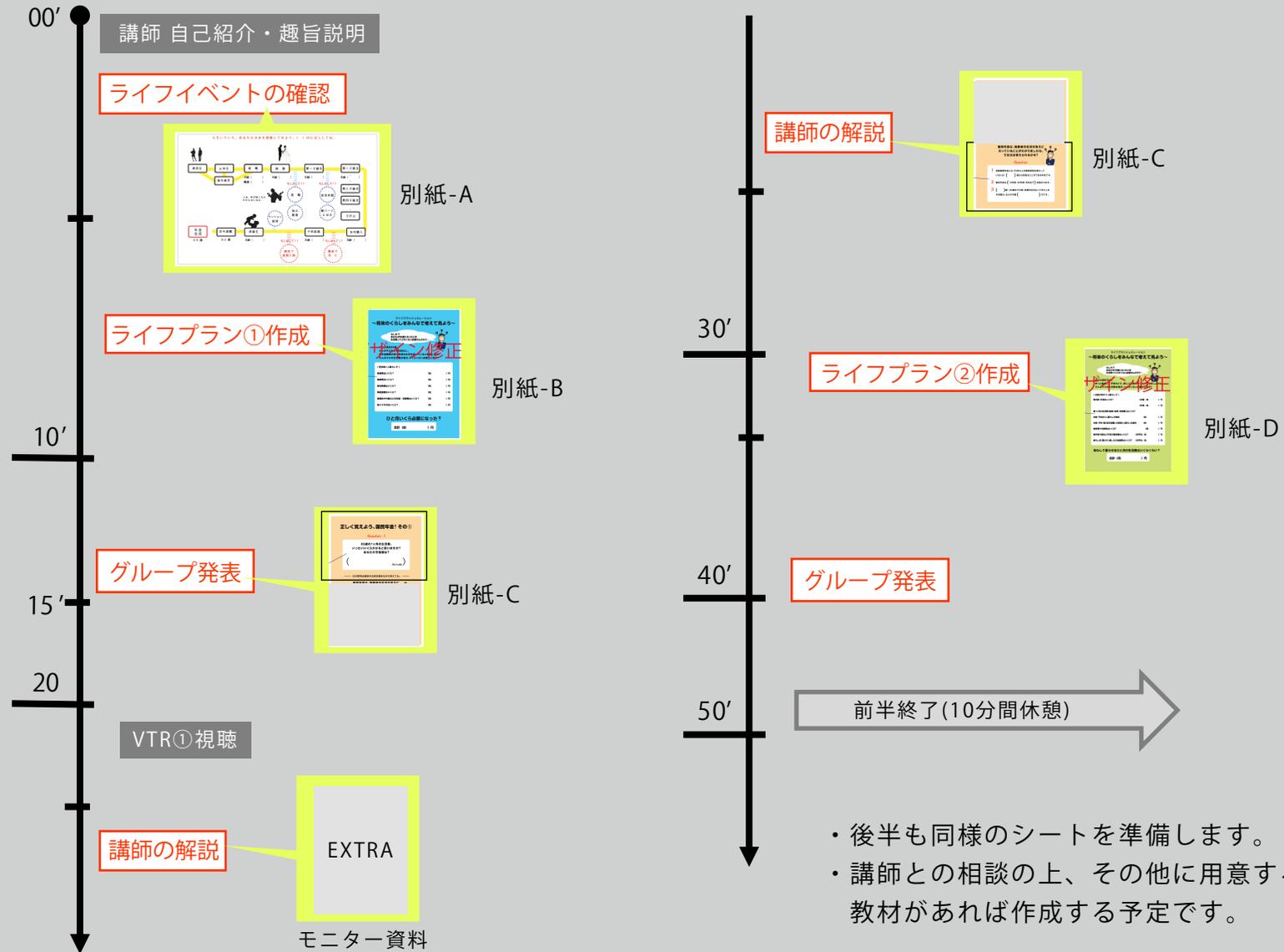
平成24年の2人以上の勤労者世帯の消費支出を年代別にみると、50歳代の355,999円が最高となっています。支出の内訳をみると、20～30歳代の若い世代では「交通・通信費」「住居」「被服及び履物」などが、40歳代では「教養・娯楽」「教育」「被服・履物」が、60歳代では「家具・家事用品」が、70歳以上の高齢世代では「食料」「光熱・水道」「保健医療」の占率が、他の年代に比べて高くなっています。

■ 世帯主の年代別に見る2人以上の勤労者世帯の消費支出

(単位:%)

	世帯 人員 (人)	消費支出 (円)	食料	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事 用品	被服 及び 履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	その 他
～29歳	3.27	243,461	19.1	17.2	7.0	3.0	4.0	3.4	20.5	2.2	7.1	16.6
30～ 39歳	3.58	271,859	21.9	10.1	7.2	3.4	4.6	3.5	17.5	4.5	10.2	17.2
40～ 49歳	3.73	318,904	22.9	5.1	7.2	3.1	4.6	3.3	15.6	9.0	11.0	18.2
50～ 59歳	3.33	355,999	20.9	4.7	6.9	3.3	4.3	3.6	16.4	6.2	8.5	25.1
60～ 69歳	2.84	307,626	23.5	6.7	7.6	4.0	3.6	5.0	13.9	0.7	9.4	25.6
70歳～	2.49	291,231	25.4	6.6	7.9	3.3	3.6	7.1	9.9	0.8	10.2	25.1

注: ■ は、各項目ごとに最も数値の高い年代区分。



- ・ 後半も同様のシートを準備します。
- ・ 講師との相談の上、その他に用意する教材があれば作成する予定です。

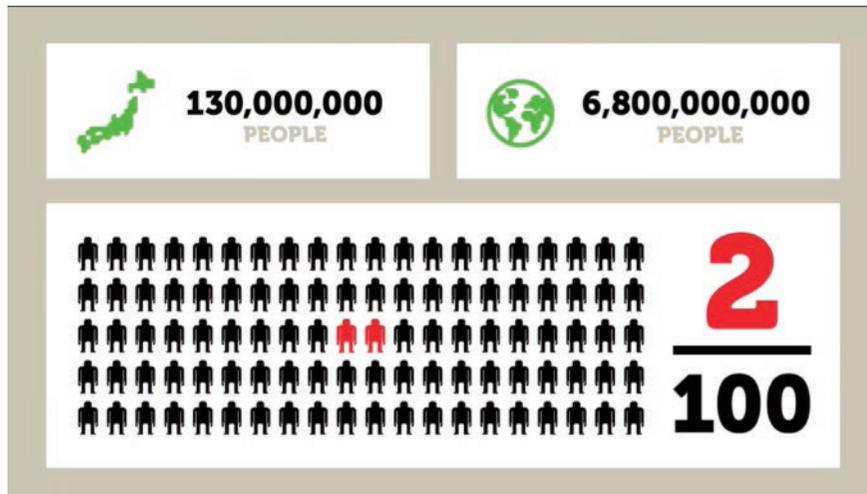
⑤ 講義教材（映像）概要

■ キービジュアル



- *キービジュアル決定後、映像化
- *インフォグラフィックによる、リズムカルな全体印象、メッセージ性の高い映像演出により国民年金を特徴的に訴求します。
- *重要なポイントは、タイポグラフィ(文字演出)等で、インパクトを強めます。

■ 展開イメージ (サンプル)



ムービーA:NENKIN

【オープニング】

男性と女性のアイコンが、20歳になったときから、
定年するまでのオーソドックスな時間を過ごしているムービー。

[ナレーション]

“思い起こせば20歳になったときから、色々ありました。
楽しいことや苦しいこと、山あり谷ありの充実した時間を過ごしてきて、
ついに今日定年を迎えました、、、。”

【多い？少ない？公的年金で生活している人たち。】

定年を迎えると、「お疲れさまでした」と仕事を引退し、
多くの人たちが無職になります。
全ての仕事で共通しているわけではないけれど、日本では大体 60 歳。
そうした高齢無職世帯の1ヶ月に必要な金額は約 26万円といわれています。
でも、、、そのお金はどこからきているのか…？

だって皆無職なんじゃ、、、。

答えは、年金！

あ、この年金とは国が運営する公的年金のことをいっています。
民間の運営する個人年金は含みませんのでご注意ください。
この公的年金、現在は約3900万人もの人が受給をしています。
そして、国民年金だけの人でも月額平均約5万円、厚生年金は約15万円がも
らえています。どうですか？多いですか？少ないですか？

実は、

年金を受け取っている人たちの6割以上が年金だけで生活をしているんです！

もちろん働いている人もいますが、

その人たちの所得も平均7割は年金が縮めています。

ほとんどの人たちにとって、年金が老後の支えになっているどころか、

年金がないと生きていけないくらいの大事なものなんです。

【年金は社会問題の解決策なんです。】

年金の制度をご存知ですか？

今回お話する年金とは国が運営する“公的年金”のお話です。

民間の運営する個人年金のことは一旦忘れてください。

簡単に言うと、

現役の働いている世代の人たちが

仕事を引退した人たちの生活を支えようという制度です。

つまり、自分たちが引退したら、

次の世代の人たちに支えてもらうことが出来る！ということでもありますね！

世代間で支えあおう！という仕組みです。

20歳～60歳までのすべての人にその義務があります。

ただ、原則として、払っておかないと受け取れません！

払いもせず貰うだけ、は出来ない！当然ですね。

昔は、農業や自営業を親と一緒に営む人が多く、

自分の親は自分で養うのが普通のことでした。

家庭の中だけで支えあうことが当たり前だったのです。

でも今は違います。

若者がサラリーマンとして都市に集中しているので、

親と子は別の家に暮らし、加えて平均寿命も伸びているので、

昔より必要な費用がどんどん大きくなっているんです。

はっきりいって、自分の生活だって大変な時代です！

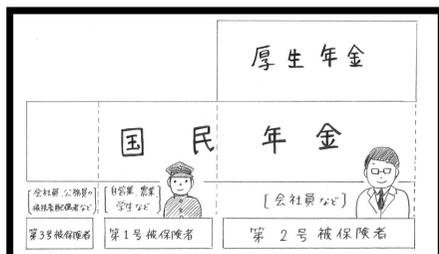
助け合いたくても助け合えない、、、どうしよう！

年金という制度はそんな社会問題を解決するために生まれた制度なんです。

各家庭の問題にせず、

若い世代が皆で、親の世代皆を支えていこう、

という仕組みなんですね。



【年金？わかりにくい？めんどくさい？ いえいえ、シンプルです。】

年金の構造って複雑！って思っていないですか？
 実は結構シンプルです。
 まず公的年金には大きくは2つ種類があります。

1つは国民年金。
 その上に厚生年金が乗っかっています。
 これを二階建て構造！といいます。

国民年金は年金を支払う義務がある人、みんなが払っているものです。
 今日は皆さんが払う必要のあるこの国民年金の話をしませよ。

もう1つの厚生年金は会社員の人原則加入するものですね。
 当然、払った分が多ければ、貰える分も多くなります。
 逆に払わなければもらうことは出来ませんし、
 例えば払う期間が短ければ短い程、のちのち貰える分は少なくなります。
 実はシンプルな構造なんです。わかりましたか？

ムービーB：NENKIN

【意外に知らない新事実① 年金のもう1つの顔】

年金は若いうちに皆で高齢者を支えよう！

そして自分が高齢者になったとき、今度は自分が支えてもらおう！

という仕組みです。

これがさっきまでの話ですね。老齢年金という名前がついています。

え？では、別の年金もあるの？と思った人もいるかもしれません。

はい、正解。別の年金もあります。知っていた人はいますか？

まず1つ目、「障害年金」というのは知っていますか？

突然の事故や病気で障害を患ってしまった場合、

受け取ることができるものです。

では、「遺族年金」は？

一家の働き手が亡くなった場合、遺族が受け取れる年金です。

年金＝老後の話、、、と思い込んでいませんか？

万が一の時の保障にもなるんです。若い時でも無関係では決してありません。

これ、意外に知られていないですが、とっても大事なことじゃないですか？

【意外に知らない新事実② 年金の半分は税金】

俺は老後に金なんていらなから、払わねーよ！

そんなこと言う人結構いるんです。本当は払っているくせに。

ご説明しましょう。

実は年金の半分は皆さんが普段はらっている税金から負担されています。

仮に年金を払わないという人が皆さんの中にいらっしゃるかもしれません。

でも、その人も、実は半分は税金で払うんです。

だって、皆さんも消費税、必ず払っていますよね？

でも、年金を当然払っていない人には支給はされません。

税金分もです。もちろん。

払ったら損だ！なんて言う人もいますけど、本当にそうですか？

払わない方が大分損している気がしますが、、、、

【年金がなくなるなんて嘘。色々手は打ってあるんです。】

「年金の納付率が6割を切った」
なんて報道されているのを見た事がある人、いますか？
なんだ払わなくていいのか
じゃあ私も、なんて考えている方、気をつけて下さい。
実際、厚生年金、国民年金、(公務員が入る)共済年金全部を合わせて見ると
95%の人がきちんと納付をしているのです。ですし、納付率もどんどん回復し
てきています。
それに現役時代に払った分の納付実績に応じて貰える金額が決まるので、
払っていない人が居るからといって、その分を他の人たちが負担する、
つまり自分の分が少なくなる事など決してありません。
当たり前ですよ。
正直者が損をするような仕組みがあるわけありません。
そして、ちょっと前に言いましたよね、半分は税金だって。
そう、年金は税金で、バランスをとっています。
つまり、絶対に持続するっていうことなんです！
その意気込みを信じてください。
だから、若い人が少ないから、もっと払え！
みたいなことが起きることもありませんのでご安心を！

6 民間個人年金、、、？】

年金の制度、色々意見もあるかもしれませんが、
やっぱり多くの人に求められているんだと思います。
その証拠に、今まで説明してきた公的年金だけでなく、
民間が行っている“民間個人年金”というものもあります。
もっと年金したい！ってゆう人がいっぱいいる人がいるんですね。
個人年金は積立型、つまり自分が貯めた分だけしか戻ってきません。
つまり、積み立てた額によっては長生きしたら
もらえなくなっちゃうかもしれないんです。
自分が何年生きるかわかっていればいいですが、そんなのわからないですよ？
それに物価が変わったりしてももちろんそれに合わせて額が変更したり、、、
なんかはしてくれません。公的年金は一生続くし、
物価の変動にあわせてスライドしますよ。
だから、声を大にして言わせてください。
安心して！信頼して！

【払えない人1 そして、払わない人。】

とはいえ、払いたくても払えない！
そんな日がこないとも言えなくもありません。
そんな時には、免除申請というものがあります。
先ほども言った通り、年金の半分は税金！！
私たちは税金も払って生きてきましたよね？
だから経済的な理由で払えない場合でも申請をし、認められさえすれば、税金に見合う給付分の1/2の基礎年金は引退後、受け取ることが出来るのです。
面倒だからって申請もせず、支払わないでいると、将来税金に見合う分も貰えないことになります。
そして、もう1つ伝えなければいけません。
別に税金分もいらねーよ。だから払わねーよ！
という人がもしかしたらいるかもしれません。
その人には内緒で伝えておきます。
実は年金は支払いが義務なのです。
つまり、払わず放置していた場合、強制的な徴収が本人や近親者に行われることだって、あるんですよ、、、。

【気軽に相談して下さい。】

これまで色々お話ししてきましたが、やっぱり複雑なことも多いんです。
例えば実際どうやって払うのかにしても、色々種類があります。
口座振替だったり、クレジットカードだったり。
コンビニや郵便局での納付方法もあります。
また、1年間分を前払いすると、お得になる制度もあつたりします。
約3800円も。その浮いた分で美味しいディナーに行けますね。
免除だけでなく、猶予制度もあつたりします。
もしかしたら、知らないと損してしまいますこともあるかもしれません。
そして、年金は、1人1人それぞれに合う形があるはずですよ。
ぜひ気軽に市区町村、近くの役所に相談してみてくださいね。
お待ちしております！
それと、、、
20歳になると年金手帳というものを皆さんは手に入れます。
これ、就職するとき、退職するとき、色々な場面で必ず必要になりますので、大事に保管してくださいね！

⑥ 今後の進行について

第7回検討会 論点（現時点想定）

	全体	市町村における国民年金等の手続促進に係る情報発信モデル事業	国民年金保険料の納付促進に係る情報発信モデル事業
第7回 検討会		<ul style="list-style-type: none">■ モデル事業の実施フレーム 確認■ パンフレット 第一稿■ 映像 零号 試写■ ポスター 第一稿■ 市町村窓口職員向けアンケートの概要	<ul style="list-style-type: none">■ モデル事業の実施フレーム 確認■ 授業台本 確認■ 映像 零号 試写■ ワークシート 第一稿■ 受講者向けアンケート調査の概要